

森と海の自然科

## 「坂越レトロ散歩」案内

兵庫県赤穂市坂越（さこし）。2018年、北前船の寄港地の一つとして、町並みや文化財が『日本遺産』に認定されました。JRの駅から東南へ、千種川にかかる坂越橋を渡ると、幅広の石畳の街路(大道(だいどう))が浜辺まで続き、その両側にはレトロな町並みが続いています。春の一日、ちょっとなつかしい落ち着いた町並みを散策します。慶長6年(1601年)創業の酒蔵では銘酒「忠臣蔵」の試飲も?!

Cグループ 権野・荘村

1:日時 2026年3月19日(木)

2:集合 JR山陽本線坂越駅 11時45分

下のJR新快速(姫路行き)に都合のいい駅から乗車して下さい。(姫路で山陽本線播州赤穂行き普通に乗り換え。)

京都 09:30 高槻 09:43 新大阪 09:54

大阪 10:00 尼崎 10:06 芦屋 10:13

三ノ宮 10:23 神戸 10:26 明石 10:38

西明石 10:42 加古川 10:53 姫路 11:03に

8番線着 7番線(同ホーム)発の播州赤穂行普通 11:06に乗り換え 坂越 11:33着



坂越大道沿いの町並み

3:行程 坂越駅発 ⇒1.7 km坂越浦ふるさと海岸(昼食) ⇒0.3 km大避(おおさけ)神社 ⇒0.3 km旧坂越浦会所 ⇒0.2 km坂越まち並み館 ⇒すぐ奥藤酒造・郷土館 ⇒1.5 km坂越駅(15時30分解散)

4:帰り 坂越駅発 15:39(姫路乗り換え) 大阪着 17:13

5:持ち物 弁当・飲み物・敷物

6:雨天中止 中止の場合は前日午後6時にメールします。

\*ふるさと海岸付近で昼食後、地元ボランティアガイドさんの案内で散策します。(ほぼ平坦な道を4 km程)



坂越浦と生島

**大避神社(おおさけ)** 坂越の産土神で、祭神を秦河勝とする。秦河勝が生島(\*)に漂着した由緒により毎年10月第2日曜に行われる祭礼では、御旅所のある生島へ華麗な船団による船渡御が行われ、「坂越の船祭」として国の重要無形民俗文化財に指定されている。

**\*生島(いきしま)** 周囲1.63 kmの小島。古来大避神社の神地とされ、島の植生は極めて自然度の高い照葉樹林が保たれていて、「生島樹林」として国の天然記念物となっている。また、島内には大避神社の祭神である秦河勝の墓や、御旅所などが残されている。

**とうろん台** かつて海に面して5間四方、高さ1間半の石積み台があり、とうろん台と呼んだ。この上に柱が建てられ、神戸海洋气象台から入電する気象情報を、「たま」という布製蛇腹の吹き抜きを揚げて報じていた。

**旧坂越浦会所** 天保2~3年(1831~1832)にかけて建築され、明治まで坂越浦の会所として使用されたほか、赤穂藩主が坂越に来訪した際には休憩所としての役割を果たした貴重な会所建築であり、赤穂市指定文化財となっている。現在は、江戸時代の姿に修理がなされ、公開されている。

**奥藤酒造・郷土館** 坂越のまち並みを散策する時に見どころとなる資料館で、奥藤酒造の敷地内にある。郷土館内には、酒造・廻船・漁業関係の資料が展示され、廻船業や漁業で栄えた坂越の歴史を学ぶことができる。

**坂越まち並み館** 旧奥藤銀行の建物を使用して、坂越のまち並み創造や来訪者の散策の拠点として整備された。かつての銀行の大金庫が残されているほか、坂越の歴史・文化・産業についての展示を楽しむことができる。

**木戸門跡広場** かつては、坂越浦の治安のため、この場所に木戸門が設けられており、今も路傍には木戸門の礎石や道標が残されている。現在は木戸門のモニュメント・休憩所・トイレが整備されている。